

一般社団法人日本臨床検査専門医会 2023年度 第2回理事会議事録

開催日時：2023年6月23日（木曜日）12時30分～13時30分

場 所：昭和大学上條記念館+ZOOMによるハイブリッド開催

出席者：（現地参加者） 〆谷直人理事長，山田俊幸副理事長，東田修二庶務担当，
増田亜希子会計担当，菊池春人，松下一之，田部陽子 各常任理事
浅井さとみ，藤井聡，植木重治，山田鉄也，尾崎敬，北中明 各理事
古川泰司 監事

（WEB参加者）橋口照人 理事，東條尚子 監事

欠席者：横崎典哉，福地邦彦，五十嵐岳 各常任理事

事務局：市川綾子

Web会議システムにより，現地，WEB全出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，的確な意見表明ができることが確認されたため，定刻，東田庶務担当常任理事が開会を告げ，〆谷理事長が議長となり，開会を宣し，議事に入った。

<報告事項>

1. 第2回年次大会の開催

木村聡大会長より挨拶があった。ゲノム医療推進法が可決されるなど，今回の大会テーマとのタイミングの良さもあり，登録者については，WEBも含め200名を超えているとの報告があった。また，浅井先生をはじめとする東海大学所属のITに詳しい方，遺伝子委員会の先生方など多くの協力を得ることができたことに謝辞を述べた。大会の運営で気付いた点として，資金集めが難しいこと，事前登録の必要性などをあげた。

2. 各種委員会報告（2023年5月以降に活動報告，事業計画に変更などがあれば）

1) 渉外委員会

横崎委員長が欠席のため，東田庶務担当常任理事が前回資料の訂正ということで，添付資料1を代読した。振興セミナーや，全国検査と健康展の企画など。

<審議事項>

第一号議案 理事任期延長について

添付資料2に基づき，菊池資格審査・規定改定委員会委員長より，理事任期の延長について委員会内で審議を行った旨報告があった。現任施行細則第11条では，理事の任期は3期すなわち6年とあるが，4期8年に延長することについて，〆谷理事長から提案があった。なお，委員会ですた意見は資料にて示された。意見が分かれるところであり，本規定は細則であることから，理事会での決議となるため，理事会で議論をして欲しいと述べた。

〆谷理事長より、提案の補足として、法人化後初めての選挙では立候補者が少なく、3期に限ってしまうと委員会委員長の選定などが難しく、運営に支障をきたす恐れがあること、前任の理事長2期4年の間に理事をし、改革などの意思を持って次期理事長に立候補しても1期2年しか理事長ができない可能性があるという説明があった。参加理事に意見を求めたが、発言はなかった。議長が議事を諮ったところ満場異議無く承認された。東條監事より、選挙立候補者が少なかったことを考えると、適切な判断だとの感想があった。当該細則は本日付で改正される。なお、定款施行細則第11条の役員の連続任期の変更に伴い、第14条の委員長及び委員の任期についての見直しは必要ないかについては次の理事会で検討していきたい旨〆谷理事長より発言があった。

第二号議案 教育研修委員会委員会規程改定について

田部委員長より、添付資料2に基づき、現行の教育委員会規程第2条活動内容4項の削除が提案された。日本臨床検査医学会学術集会時の共催シンポジウムについて、今後はどの委員会が企画・開催するかはその年ごとに理事会で検討する。議長が議事を諮ったところ満場異議無く承認された。

第三号議案 第3回年次大会について

尾崎次期年次大会会長より、添付資料を示したうえで、現在、演者について検討をしているが、経費の関係もあり、できれば専門医会の先生に講演をお願いしたいため、紹介をして欲しいとの依頼があった。特に、審議事項とはせず。

その他、オブザーバーとして参加した次期理事、を含め参加者が挨拶を交わした。

以上をもって議事・報告の全てを終了したので議長は閉会を宣した。

全員通信が途切れることもなく、閉会までつつがなく議事が進行された。

以上、議事・報告事項について本議事録を作成し、出席理事長及び出席監事は次に記名押印する。

2023年 9月 4日

理事長 〆谷 直人 印

2023年 9月 8日

監事 古川 泰司 印

2023年 9月 11日

監事 東條 尚子 印